

## 質問した事項

11人の議員の一般質問を紹介します。掲載しきれなかったほかの質問は、深川市議会YouTubeチャンネルや一般質問通告表で御覧いただけます。



- 村上 誠 議員…05
  - ・スマート農業の導入支援を
  - ・農業用水利施設の電気料金高騰対策
- 伊藤美恵子 議員…06
  - ・脱炭素社会に向けた取組を
  - ・選挙投票率向上のための環境整備を
- 新田 旺 議員…06
  - ・若者の流出を防ぐ対策は
  - ・起業を後押しする空き店舗対策を
- 有働 正夫 議員…07
  - ・市立多度志診療所について
  - ・鳥獣害対策の状況と今後の取組は
- 佐々木一夫 議員…08
  - ・国民健康保険証の継続交付
  - ・自衛隊への市民の個人情報の提供
- 山本 時雄 議員…08
  - ・市道の整備と補修の状況は
  - ・プラザ深川の今後の在り方について
- 田畑 陽美 議員…09
  - ・居場所づくりに行政支援を
  - ・災害廃棄物処理計画の策定について
- 松原やす子 議員…10
  - ・学校給食費無償化の見通し
  - ・加齢性難聴者への補聴器購入助成を
- 大前 昭代 議員…10
  - ・公共施設に授乳室等設置を
  - ・外部人材受入れで行政に新しい風を
- 宮澤 孝司 議員…11
  - ・選挙の日程変更について
  - ・住宅リフォーム助成の追加募集は
- 松本 雅祐 議員…12
  - ・特定空き家増加の防止対策
  - ・带状疱疹ワクチン接種費用の助成を



むらかみ まこと  
**村上 誠 議員**  
「公政クラブ」

# スマート農業の導入支援を 持続的な農業を目指し推進

Q 農家戸数の減少により、今後も一戸当たりの耕作面積は増加すると見込まれることから、作業の効率化を図るため、スマート農業の導入支援を継続していく必要があると考えるが、市の考えを伺う。

A スマート農業用機械の導入には、大きな初期投資を要し、国の補助事業活用も年々高くなっている状況にあるため、市としては、スマート農業推進に関する十分な予算確保を国や北海道に要請していきます。また、深川市農業ステップアップ推進事業のICT導入支援についても、必要に応じ

事業内容の見直しを図りながら、本市農業の持続的な発展に向け、スマート農業を推進します。

Q 農業用水利施設の電気料金高騰対策

A 土地改良区では、稲作に必要な農業用水を安定供給するため、揚水機を多数稼働しているが、電気代高騰により今後、農家が負担する賦課金の引上げが避けられない。市による支援の考えを伺う。

A 国や北海道においては、令和4年度から5年度までの電気代高騰の7割相当分の支援が行われる予定ですが、3年度から4年度にかけての高騰分が含まれていないことなどから、先般、関係する五つの土地改良区より、市に対する支援要請がありました。支援の実施は、財源確保が課題でありませんが、農業水利施設における今後の電気料金の推移を注視しながら、有利な財源確保に努め、十分に検討します。

深川市農業ステップアップ推進事業  
：市HP



スマート農業用機械



あきら  
新田 旺 議員  
「民主クラブ」

## 若者の流出を防ぐ対策は 効果的な施策を検討する

深川市起業支援・  
店舗改装等助成  
:市HP



合同企業説明会の様子



いとう えみこ  
伊藤美恵子 議員  
「民主クラブ」

## 脱炭素社会に向けた取組を 省エネルギー化を推進する

ゼロカーボンシテ  
イふかがわ:市HP



環境に配慮した新庁舎

◎ 日本各地で大規模災害が多発しており、地球温暖化対策は待ったなしの状況にある。市は本年3月にゼロカーボンシティふかがわを宣言したが、脱炭素社会実現に向けて当面する具体的な取組を伺う。

◎ 当面の取組としては、燃料使用量が軽減される液体燃料触媒の公用車への試験導入を今年度から実施しているほか、新庁舎の省エネルギー化等により、本市が事業所として排出する二酸化炭素の削減を図ります。また、化石燃料から生成されるプラスチックなどの使用済み製品を資源に、再び同じ製品として利用する

◎ 水平リサイクルの検討や、ゼロカーボンシティふかがわを実現するため、機運の醸成を図ります。

### 選挙投票率向上のための環境整備を

◎ 近年、選挙投票率が低下傾向にあるが、道内の自治体によってはワゴン車やバスを利用した移動期日前投票所を導入している例もある。高齢者等に配慮した移動投票所の導入の考えについて伺う。

◎ 土幌町では、個人の自宅前に移動期日前投票所を設置しており、法律の定めにより、その自宅住所を期日前投票所として告示しなくてはならぬため、投票日の約1カ月前までの事前申込み制としています。今後、他の自治体の状況などを踏まえながら、投票所までの移動支援の方法等について調査・研究するとともに、投票所までの移動が難しい方のための制度である不在者投票の周知に努めます。

Q 現在、全国的に若者の流出が問題となっており、本市においても同じ問題を抱えている。若者に向けた施策をもっと強化すべきだと思うが、市外への若者の流出を防ぐための今後の対策について伺う。

A 雇用の安定を図ることを目的に、合同企業説

明会の開催や奨学金事業、その他支援事業などに取り組んできましたが、残念ながら若い世代の流出を防ぐまでには至っていません。今後は、市の魅力発信をさらに進めるとともに、人口減少の流れを緩やかにするため、移住・定住の取組や少子化対策など、総合的に取組

を進め、若い世代の方々に深川市の魅力を感じていただけるよう、効果的な施策を検討します。

**起業を後押しする  
空き店舗対策を**

Q 起業を検討する方にとって、老朽化が激しい空き店舗の改装は、多額の設備投資を要するため、

起業支援制度を活用したとしても容易ではない。事業者がより活用しやすい空き店舗対策の考えを伺う。

A 本市では、空き店舗を活用して商業用店舗等を開設した方に対し、改装経費の一部、また、賃借料の一部を3年間助成する制度を実施しており

商工振興に関する審議会等において、制度内容に関する意見等を伺いながら運用しています。今後は、起業を検討する方にとって、より効果的な制度としていくため、引き続き審議会等で意見を伺いながら、他市の類似制度等も調査し、多面的に研究してまいります。



うどうまさお 議員  
有働正夫 「公政クラブ」

## 市立多度志診療所について

### 地域医療の継続に向け研究

Q 現在、市立多度志診療所は野上医師に管理運営いただいているが、本人は高齢のため、今後の診療所の動向を心配されている。地域住民のコミュニティの場としても重要な施設だが、診療所存続の考えを伺う。

A 野上医師からは、地域の診療所において長い

間診療を続けてきたため、今後も可能な限り診療を継続したいとの意向を確認しています。市としては、人口減少に加えて少子高齢化が進む地域において、医療体制を維持確保していくことは大変重要な課題だと認識しており、引き続き地域医療を継続できるよう、野上医

師の意向や地域の状況等も踏まえながら、十分に研究してまいります。

**鳥獣害対策の状況  
と今後の取組は**

Q 市内では、エゾシカ、アライグマ、ヒグマの目撃情報が多数寄せられており、その数は年々増加している。農作物や人的

被害等の拡大を防ぐため、市民への周知やさらなる対策等に取り組む考えを伺う。

A エゾシカやアライグマの捕獲頭数、ヒグマの目撃情報を踏まえると、それぞれ生息数の増加が考えられるため、これまでの鳥獣害対策を継続して実施するとともに、関

係機関・団体とより一層の連携を図り、他の市町村の取組事例なども参考に、効果的な取組を研究します。なお、ヒグマが市街地などに出没した場合は、関係機関・団体と協議・連携の上、状況に応じて周辺住民に注意を呼びかけるなど、被害防止に努めます。

ヒグマの目撃情報  
：市HP



クマ出没注意看板



やまもとときお  
**山本時雄** 議員  
「令和公明クラブ」

## 市道の整備と補修の状況は 損傷箇所を適宜実施

プラザ深川：市HP



プラザ深川



ささきかずお  
**佐々木一夫** 議員  
「れいわ新選組」

## 国民健康保険証の継続交付 通知を踏まえ適切に対応

◎ 政府はマイナンバーカード普及の利権と実質強制のため、国民健康保険証の廃止を決したが、市民の生命を守るため、制度継続の必要性と資格確認書の周知、保険証の交付を続けるべきではないか。

◎ カード未取得の方などには、従来の健康保険被保険者証に代わり、資格確認書を無償で交付します。なお、交付に当たっては、申請等の手続を要せず、自動交付となります。市としては、全ての被保険者が必要な保険診療を受けられるよう、市民周知を徹底するとともに、

被保険者証廃止後の事務取扱を踏まえながら、今後、適切な対応について検討していきます。

### 自衛隊への市民の個人情報提供

◎ 自衛隊法等には、個人情報提供や市長権限の定めはない。個人情報保護法では、個人情報提供は、本人の同意が必要である。

◎ 自衛隊では、自衛官等の募集に際して名簿を作成するため、昨年度までは、市民課窓口において住民基本台帳の一部の閲覧による情報収集が行われていました。市では、国の通知等を踏まえ協議を行い、今年度は、個人情報保護法第69条第2項に基づき、個人情報の提供を行う考えですが、個人への配慮が必要と判断し、自衛隊への個人情報提供の除外申請を、8月15日まで受け付けています。

自衛隊への情報提供を望まない方へ  
市HP



健康保険証のイメージ

Q 市道の舗装に亀裂が入ることが原因で、雪解け時期に多く発生する路面のくぼみや、路面の水たまりは、通行に大きな支障を来している。市内各地の市道の整備状況と損傷箇所の補修状況を伺う。

A 令和5年4月1日現在、市道の延長は約694キロメートル、改良率は約62%、舗装率は約58%であり、砂利道に水たまりが発生した際は、路面を平たんに整正し、必要に応じて砂利を敷きならす等の維持管理を行っています。また、舗装済み道路は、適宜行っているパトロールをはじめ、市民からの情報提供によ

り損傷箇所を把握し、危険な箇所は、速やかに応急修繕を行うとともに、春先以降に本格的な修繕を行っています。

Q プラザ深川の今後の在り方について

A 旧北海道拓殖銀行深川支店を活用したプラザ深川は、深川市のシンボルとなり、駅前活性化につながっている。施設の老朽化により、修繕等が必要な状況にあると考えるが、今後の施設の在り方を伺う。

A プラザ深川は、バスの待合機能のほか、会議室や貸事務所等も用意し、様々な方に利用いただいています。施設が老朽化しているため、外壁や屋上等の修繕を実施し、維持管理に努めています。今後も施設の老朽化が課題ですが、有利な財源確保を念頭に置き、修繕に努め、施設の設置目的である地域の活性化、市民の交流促進及び産業の振興を図られるよう、適切に運営してまいります。



たばたはるみ 議員  
田畑陽美 議員  
「民主クラブ」

## 居場所づくりに行政支援を

## 先進事例等を参考に研究

Q 全国で増えている子ども食堂等は、地域の居場所づくりにつながっている。国の補助金を活用し、居場所づくりの取組に対する支援を行う自治体も増えているが、深川市における支援の考えを伺う。

A 子供を取り巻く社会環境は、日々変化しており、子供の居場所に関するニーズも多様化しています。深川市の未来を担う子供たちが、安全で安心して過ごせる居場所を持ちながら、体験活動等を通じて様々な学びや自己肯定感を高めることは、重要な課題と考えています。今後、先進事例や子供の意見等を参考にしな

Q 災害廃棄物処理計画の策定について

A 近年、激甚化する自然災害が全国各地で頻発している。深川市においても河川の氾濫など、万

が一の状況に備えることは重要と考えるが、現在、未策定の災害廃棄物処理計画に対する市の考えを伺う。

A 災害時は多くのごみが発生し、生活環境の悪化や公衆衛生への影響を最小限にするため、災害廃棄物の仮置場を確保する必要があり、その選定

は、避難所や仮設住宅等、他の用途との優先順位や、近隣住民から理解が得られる公有地を想定して、検討を進めています。今後も関係所管と連携を図りながら、廃棄物の適切な処理が行われるよう、仮置場の選定も併せて、災害廃棄物処理計画の策定に努めます。

深川市地域防災計画：市HP



平成30年7月に発生した大雨災害



おおまえあきよ  
**大前昭代** 議員  
「民主クラブ」

## 公共施設に授乳室等設置を 施設の改修時に設置を検討

地域活性化起業人  
：総務省HP



おむつ交換台のイメージ



まつばら  
**松原やす子** 議員  
「日本共産党」

## 学校給食費無償化の見直し 無償期間を段階的に拡充

北空知圏学校給食  
組合HP



学校給食のイメージ

◎ 北海道内では、学校給食費の年間負担額が1子当たり5万円程度とされ、保護者の負担軽減のため、給食費無償化の波が広がっている。市民も早期の完全無償化を望んでいるが、今後の見通しを伺う。

◎ 来年度以降、学校給食費の無償期間を段階的に拡充して、最終的には年間を通じた無償化を実現したいと考えています。具体的な拡充時期等については、年間を通じた無償化に必要となる約4800万円の全額が一般財源になることから、財源状況を勘案しつつ、今後の物価高騰による学校給食費の見直しによる負担

増及び他市の状況などを注視して、可能な限り早期に実現できるよう努めます。

### 加齢性難聴者への補聴器購入助成を

◎ 65歳以上の3人に1人が難聴を抱えていると言われ、認知症の危険因子にも挙げられている。

◎ 補聴器の使用は、認知症予防等につながることから、加齢性難聴者に対する補聴器購入助成の考えを伺う。

◎ 昨年の第4回市議会定例会の一般質問においても、同趣旨の質問をいただいています。加齢性難聴者の補聴器購入助成に係る国の制度化については、全国市長会及び北海道市長会において提言または要請を行ってまいります。したがって、今後は要請等に対する国の動きも注視しながら、他自治体の実施状況も参考に、本市としてどのような方策が取れるのか、引き続き研究していきたいと考えます。

Q 授乳やおむつ交換が可能な市内公共施設は限られ、また、おむつ交換台はバリアフリートイレ内に設置される場合が多く、衛生面等が心配される。現状を踏まえた、特に道の駅での今後の対応を伺う。

A 道の駅のおむつ交換台は、開設当初よりバリアフリートイレ内に設置してありますが、授乳室は設置しておらず、来館者からも設置を望む声が寄せられています。しかし、限られたスペースの中で施設を運営しており、現状での授乳室の設置は困難と考えます。なお、道の駅は、開設から20年が経過し、リニューアルを

検討する時期を迎えているため、今後、大規模な改修を行う際には、授乳室等の設置を検討します。

外部人材受入れで行政に新しい風を

Q 民間企業で活躍する専門人材を受入れ、地域の課題解決に向けた活動を

に從事してもらおうと企業人材派遣制度の利用が全国で急拡大している。人を育てる観点からも利点は多いと思うが、市の考えを伺う。

A 当該制度は、財政面、市職員の不足、幅広い分野の地域課題の解決に向けた取組、自治体側、民間企業側の人材育成といった面でも有効な制度と考えます。本市においては、市民生活の利便性向上のため、デジタル・トランスフォーメーションの加速的な推進が必要と考えていますので、他の自治体の事例を参考に、北海道とも連携しながら、効果的な活用について十分検討します。



みやざわ たかし 議員  
宮澤孝司 「令和公明クラブ」

## 選挙の日程変更について

### 任期満了の30日以内に執行

Q 昨年12月に執行された市長選挙は、雪と寒さで大変厳しい状況であったため、市民から選挙日程の変更を望む声が多く寄せられた。市長選挙における投票率等の状況と選挙日程の変更が可能か伺う。

A 昨年の市長選挙の投票率は、男性60・79%、女性59・67%、合計60・18%でした。また、選挙日程については、深川市長の任期は1月20日までであり、選挙は任期満了の30日以内に行うことが法律で定められています。したがって、現職市長が任期途中で退職等により欠けた場合は、選挙日程が変更になる可能性がある

りますが、現行の任期のままであれば、12月21日から1月19日の間で今後も執行されます。

住宅リフォーム助成の追加募集は

Q 住宅リフォーム助成は、予算額に達した時点で募集が締め切られるが、早期に募集が締め切られ

た年度の多くは補正予算が組まれ、追加募集が行われている。今年度における追加募集の考えを伺う。

A 過去2年間は、緊急経済対策住宅リフォーム助成として実施し、予算額に達したあとは追加受付分の補正予算を議決いただいており、今年度も

住宅助成制度：市HP



投票のイメージ

予算が残り少なくなった時点で、追加措置を検討しましたが、国からの臨時交付金などの有利な財源の確保が見通せないことから、追加措置は難しいと判断しています。今後、臨時交付金など有利な財源が確保できた場合は、改めて検討したいと考えています。

# 掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会  
YouTube  
チャンネル



一般質問通  
告表



まつもとまさひろ  
**松本雅祐** 議員  
「令和公明クラブ」

## 特定空き家増加の防止対策

### 所有者等への啓発を継続

Q 適切な管理がされていない空き家のうち、倒壊の恐れなどの特に危険性が高い建物は特定空き家に指定される。今後も空き家は増え続けると見込まれるが、特定空き家の増加を防ぐための対策を伺う。

A 特定空き家とならないよう、市では所有者や管理者への啓発、注意喚起等を基本としつつ、市民から寄せられた情報を管理する空き家台帳の整備、課題が多岐にわたる空き家の関係所管との連絡体制の構築、空き家バンクの登録による建物の有効活用、住宅の解体助成などに取り組んでいきます。昨年は市外に居住す

る所有者に対する訪問も行っており、今後もある有効な対策について研究していきます。

### 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を

Q 带状疱疹は50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われ、重篤な症状や合併症の恐れがある。予防に効果的なワクチン接種は高額な費用を要するため、助成の考えを伺う。

A 带状疱疹ワクチンは任意接種であり、ほかにもインフルエンザやおたふく風邪等のワクチンが任意接種となっています。带状疱疹ワクチン接種費用の助成は、複数の任意接種ワクチンが存在することから、十分な根拠を持たなければ実施できないと考えており、ワクチン接種による副反応や発症及び重症化予防等の情報、他市における助成状況も把握しながら、費用助成について慎重に研究します。

深川市空家等対策  
計画：市HP



特定空き家のイメージ



■村上 誠 議員

- ・深川市の魅力発信と来訪者を増やす取組について

■伊藤美恵子 議員

- ・自転車の交通事故対策について
- ・職員採用試験と若手職員の離職防止対策について

■有働 正夫 議員

- ・高齢者の交通手段について
- ・多度志小学校について

■佐々木一夫 議員

- ・深川地区消防組合会計不正経理問題の返還金について
- ・公益通報者に対するハラスメント対策委員会の認定について
- ・マイナンバーカードの返納及び利用者登録の削除について
- ・燃料費等高騰による指定管理者への支援について
- ・インボイス制度の市内事業者への影響について
- ・食料自給に向けた肥料の自国生産と下水道汚泥等の利用について
- ・クラーク記念国際高校野球部について
- ・一已小学校校庭のカラス被害について
- ・高齢者の交通手段について
- ・JR留萌本線廃止後の特急列車等ダイヤについて

■山本 時雄 議員

- ・公共施設の清掃業務について
- ・市民の足として利用されているタクシーについて

■田畑 陽美 議員

- ・合宿招致について
- ・市職員の副業解禁について

■松原やす子 議員

- ・自衛隊への住民情報の提供について
- ・マイナンバーカードの健康保険証利用について
- ・交通の便について

■大前 昭代 議員

- ・給食費無償化の現状について
- ・小中学校における図書の利用について

■宮澤 孝司 議員

- ・中心市街地の大型店舗撤退について
- ・ふるさと同窓会応援事業について

■松本 雅祐 議員

- ・子供や若者の声を聴く取組について
- ・農福連携の推進について
- ・分かりやすく親しみやすい市役所の公用文について
- ・市民球場の駐車場について